

Final Stage

ぜっ校長!

第17号…健康でいい夏休みを!
2019(令和元)年7月19日(金)
稲羽中学校 校長 江口 雅明

☆夏休みを迎える今こそ…“命”について考えたい!

▼7月に入って、学校はもちろん社会を大きく揺るがす事件が続いています。3日、岐阜市の中学3年の男子生徒が転落死するという痛ましい事件が起きました。学校は「いじめ」があっただけでなく、教職員間での情報共有ができていなかったことを認めました。また、2日後の5日、埼玉県所沢市で中学2年の生徒が刃物で刺されて殺害され、同級生の男子生徒が逮捕されるという悲惨な事件が起きました。報道によれば、以前教科書を隠されたことを問い詰めたことで言い争いとなった結果だそうです。学校現場で中学生と向き合っている一人として、これ以上もないほど心が痛みます。本校では、緊急に職員会を行い、6月末に実施した『心のアンケート』の結果を詳細に検証し、「いじめ」や「不登校」についての現状把握や対応策の検討を行いました。子どもの悩みにどこまでも寄り添える教職員でいたいと思っています。▼生徒の皆さん、どうか自分の“命”を大切にしてください!そして、相手の“命”を尊重してあげてください! この世に必ずや何かの使命を受けて生まれてきた人間が、他人の“命”を奪うことなど、ましてや自分の“命”を奪うことなど許されることではないのです。遺伝子工学の第一人者、村上和雄筑波大学名誉教授によれば、「この地球に存在するすべての生き物の“命”の数から計算すれば、あなたが“人”として生まれてきた確率は、1億円の宝くじが100万回当選する確率に匹敵する」そうです。そんな貴重な“命”も、たった一つしかありません。そして、“命”を奪われたり失ったりした人のご家族やご友人の気持ちを考えると、その悲しみや苦しみの大きさや深さはまったく想像ができません。その意味からも、あなたの“命”はあなただけのものではないと言っても過言ではないと思います。もし、今あなたが誰かをいじめているのであれば、今すぐやめなさい! 一生“加害者”のレッテルを貼られて生きていくことにならないためにも。もし、あなたが今いじめられて、嫌な思いをしているのなら、今すぐ、誰にでもいいから相談しなさい! 誰かに相談することは、決して恥ずかしいことではなく、むしろ自分の“命”を守ることに繋がります。あなたは一人ではありません!▼保護者の皆様、夏休みは言うまでもなく学校で先生や友だちと過ごす時間はほとんどなくなり、ご家庭でご家族とともに過ごす時間が多くなります。是非、災害や犯罪から身を守るためのスキルや「いじめ」の“加害者”や“被害者”をつくらない健全な生き方について話し合いながら、お子さまの夏休みの頑張りを見守ってあげてください。



☆What Cool Students! この夏、稲中生が頑張ります!

- (1)『愛のともしば』事業(東北ボランティア)に市内中学校代表の8名が出かけます!
◎稲羽中学校からは、加藤 遼くん(3-1)が参加します。
【期日】8月3日(土)から5日(月)の2泊3日 【場所】宮城県石巻市・塩竈市
- (2)『各務野立志塾』(白川郷研修)に市内中学校代表40名が参加します。
◎稲羽中学校からは、丹羽悠陽くん(2-1)、郡山瞬くん(2-2)、伊藤日菜さん(2-2)、木本大惺くん(2-3)、岩佐一花さん(2-3)の5名が参加します。
【期日】8月21日(水)~24日(土)の3泊4日 【場所】白川郷トヨタ自然学校